



TSI HOLDINGS GROUP

2024年2月期 通期 決算説明会

15th April 2024

証券コード：3608

AGENDA

TSI HOLDINGS

- 1 2024年2月期 通期決算概況
- 2 ブランド別概況
- 3 チャネル別概況
- 4 2025年2月期 通期連結業績計画
- 5 補足資料



❖❖❖ 1

2024年2月期 通期決算概況

TSI HOLDINGS



【 24年2月期の総括 】

■ 市場環境

新型コロナ収束後、経済活動が徐々に正常化。猛暑や暖冬の影響はあったものの、外出需要の回復やインバウンド需要の増加で、消費意欲は前年よりも向上している。
一方で、為替悪化や原材料高騰によるコスト増、国内外の物価上昇による消費者の節約志向の高まりなど、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いている。

■ 国内の事業状況（全体）

市場回復の恩恵に加え、コロナ禍から行ってきたOMO戦略による顧客の醸成や商品施策による新たなファンの獲得などにより、レディースブランドやストリート系ブランドが売上を伸ばした。
ただし、これまでの経緯から商品仕入に慎重を期した結果、欠品も発生。成長速度にブレーキをかけることとなり、課題を残した。

■ 国内の事業状況（ゴルフ領域）

コロナ特需が一巡したゴルフ領域は明暗が分かれた。成長フェーズにあるPINGやnew balance golfは依然堅調に推移も、主軸ブランドであるPEARLY GATESは需要予測の見誤りと新規商品の計画割れで在庫過多となり、消化を優先した結果、収益性が悪化した。

■ 海外の事業状況

当社の海外事業における主要領域である米国アスレジャー市場は、コロナ特需の反動で業界として供給過多の状況に陥っており、価格競争が激化。インフレによる消費意欲の減退や、HUFにおいては23年2月期の売上を牽引した“20周年記念企画”の反動なども重なり収益性が悪化した。

環境・市場の非連続的変化の中で、柔軟かつ効果的に対応するための機動力不足やチーム体制の弱さが浮き彫りとなった。更なる飛躍を実現させるためには今一度見直しが必要な状況下にある。

今回、2022年4月に発表した“TSI Innovation Program2025”をローリングした中期経営計画を策定。

構造改革に着手し、2027年2月期での営業利益100億円超達成を目指す。

コロナ禍において好調だった一部ゴルフ事業と米国ストリート事業が、コロナ収束による市場の平常化と反動により停滞。全社の収益性に大きな影響を与え、当初計画を大きく落とす要因となった。修正計画に対してはセールスの好調や堅調なブランドの下支えもあり死守。

通期 売上高

1,553.8億円

当初計画比 95.9%

修正計画比 100.6%

修正計画差 +9.8億円

通期 営業利益

17.6億円

当初計画比 37.4%

修正計画比 125.7%

修正計画差 +3.6億円

通期 純利益

48.4億円

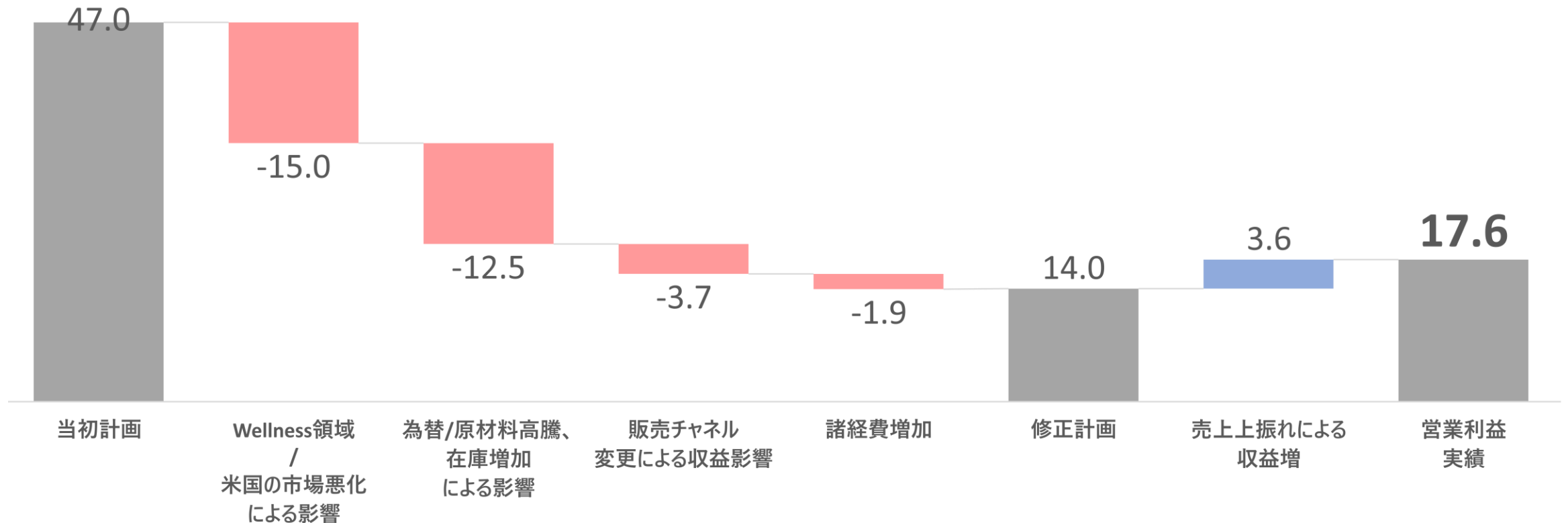
当初計画比 138.5%

修正計画比 173.2%

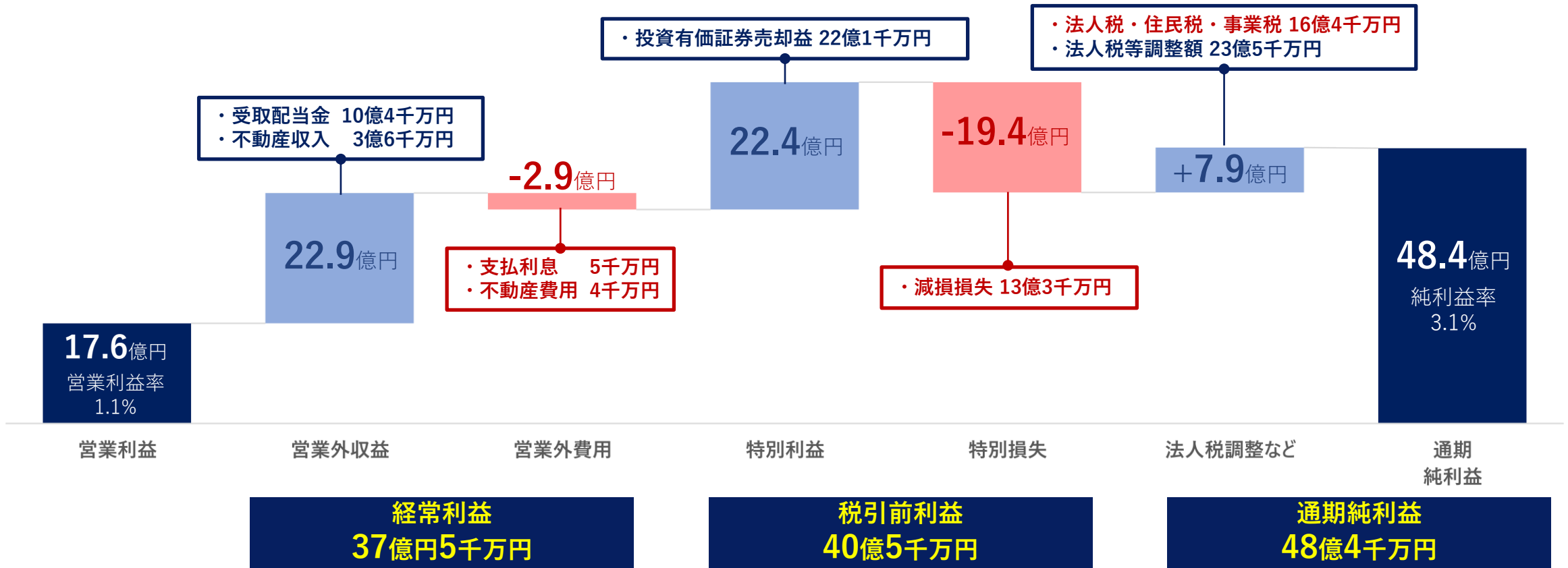
修正計画差 +20.4億円

- 売上高は昨年の事業撤退の影響がありながらも、前期比 **100.6%**と伸長。コロナ収束影響を見誤り当初計画未達
- 営業利益は為替や原材料の高騰に加え、在庫消化のための値引販売の影響で、当初計画比 37.4%の着地
- 純利益は法人税等調整額の影響により、実績 **48.4億円** / 当初計画比 138.5% / 修正計画比 173.2%

営業利益 47.0億円を計画する中、複数の業績悪化要因に対し、柔軟かつ効果的な打ち手を取れず、営業利益 14.0億円の修正計画とした。その後セールでの収益回復と堅調ブランドの収益確保により営業利益 **17.6億円** と修正計画からは **+3.6億円**の着地となった。



受取配当金・不動産収入などの営業外損益 19.9億円を加え、**経常利益 37.5億円**。
 投資有価証券売却益・減損損失などの特別損益 2.9億円を計上したほか、今後の業績見通し等を踏まえ、将来減算一時差異の回収可能性が高まり法人税調整（益）が 23.5億円となり、**純利益 48.4億円 利益率 3.1%** となった。



9 貸借対照表について

	2023.2期 通期累計		2024.2期 第3四半期累計		2024.2期 通期累計					
	実績 (百万円)	構成比 (%)	実績 (百万円)	構成比 (%)	実績 (百万円)	構成比 (%)	前期差 (百万円)	前期比 (%)	前回差 (百万円)	前回比 (%)
流動資産	71,837	53.0%	74,499	53.4%	70,877	53.1%	▲960	98.7%	▲3,622	95.1%
うち現金及び預金	32,205	23.8%	23,111	16.6%	27,472	20.6%	▲4,733	85.3%	4,361	118.9%
うち棚卸資産	24,679	18.2%	32,753	23.5%	28,052	21.0%	3,373	113.7%	▲4,701	85.6%
固定資産	63,589	47.0%	65,091	46.6%	62,586	46.9%	▲1,003	98.4%	▲2,505	96.2%
うち投資有価証券	27,879	20.6%	27,944	20.0%	25,137	18.8%	▲2,742	90.2%	▲2,807	90.0%
うち投資不動産	4,708	3.5%	4,688	3.4%	4,683	3.5%	▲25	99.5%	▲5	99.9%
資産合計	135,427	100.0%	139,591	100.0%	133,464	100.0%	▲1,963	98.6%	▲6,127	95.6%
流動負債	26,239	19.4%	32,342	23.2%	28,388	21.3%	2,149	108.2%	▲3,954	87.8%
うち短期借入金	17	0.0%	5,045	3.6%	5,013	3.8%	4,996	29488.2%	▲32	99.4%
うち1年内返済予定の長期借入金	4,737	3.5%	3,853	2.8%	3,309	2.5%	▲1,428	69.9%	▲544	85.9%
固定負債	10,309	7.6%	8,807	6.3%	7,653	5.7%	▲2,656	74.2%	▲1,154	86.9%
うち長期借入金	5,010	3.7%	2,562	1.8%	1,630	1.2%	▲3,380	32.5%	▲932	63.6%
負債合計	36,549	27.0%	41,149	29.5%	36,041	27.0%	▲507	98.6%	▲5,108	87.6%
純資産	98,878	73.0%	98,441	70.5%	97,422	73.0%	▲1,456	98.5%	▲1,019	99.0%
うち自己株式(▲)	▲3,031	-2.2%	▲5,604	-4.0%	▲7,605	-5.7%	▲4,574	250.9%	▲2,001	135.7%
負債純資産合計	135,427	100.0%	139,591	100.0%	133,464	100.0%	▲1,963	98.6%	▲6,127	95.6%

> 現預金

【前期差】

棚卸資産の増加等により47億円の減少。

> 棚卸資産

【前期差】

当社想定と市場需給変化の乖離による在庫増に加え、戦略上の先行仕入により、前期比 113.7%、前期差+33億円と増加。

> 投資有価証券

【前期差】

財務バランス適正化と事業投資への備えを目的とし投資有価証券を売却。前期比90.2%、前期差▲27億円と減少。

> 自己株式

【前回差】

資本政策の遂行及び株主還元策の一環として自己株式取得を継続実施、+20億円の増加。当該取得分は4月30日に償却予定。



2

ブランド別概況



コロナ特需の反動による停滞ブランドを除くと、主要ブランドは堅調。

特に「**MARGARET HOWELL**」・「**AVIREX**」・「**STUSSY**」が年間を通じて好調に推移し、前年から2桁成長。主力ブランド以外では、「**LE PHIL**」・「**ADORE**」・「**ROYAL FLASH**」・「**Schott**」など独自の商品提案で差別化ができていくブランドが国内外のお客様に支持され好調。

■ 売上TOP10ブランド

	2023.2期 通期累計		2024.2期 通期累計		前期比
	売上高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (%)
1. PEARLY GATES	17,086	11.1	16,111	10.4	94.3
2. NANO universe	14,764	9.6	14,268	9.2	96.6
3. MARGARET HOWELL	12,801	8.3	14,133	9.1	110.4
4. NATURAL BEAUTY BASIC	10,994	7.1	11,108	7.1	101.0
5. HUF	9,853	6.4	8,843	5.7	89.8
6. AVIREX	7,084	4.6	8,125	5.2	114.7
7. STUSSY	4,617	3.0	5,387	3.5	116.7
8. new balance golf	4,409	2.9	4,714	3.0	106.9
9. human woman	4,400	2.8	4,297	2.8	97.6
10. Jack Bunny!!	3,445	2.2	3,597	2.3	104.4
TOP10 計	89,457	57.9	90,588	58.3	101.3

・ PEARLY GATES

前期比：94.3%

コロナ特需により急成長を遂げたものの、ブームが一巡し踊り場に。

在庫調整のため数年振りにセールを実施する等、適正化に向けた取り組みを実行中。

・ NANO universe

前期比：96.6%

収益性に重点を置いた製販計画への見直しや退店の影響により、前期を下回る結果となったものの、商品構成の改善等により既存店は前期比123%と復調。

・ NATURAL BEAUTY BASIC

前期比：101.0%

限定店舗で展開している「LIMITED EDITION」の好調などにより収益を伸ばすも、想定を超える需要に供給が追いつかず一部商品で欠品が発生。退店影響もあり、全体売上を伸ばしきれなかった。



3

チャンネル別概況



国内リアル店舗の売上高は前期比 **103.5% +30.7億円** と伸長。

店舗数は7店舗純減したものの、都市部の路面店・百貨店の急成長により増収となった。

国内その他も **113.4% +21.6億円** と伸長している。

労働力不足が社会課題となる中、自社子会社エス・グローヴの人材支援サービスが継続して規模を拡大しており、売上成長に寄与した。

		旧収益基準	新収益基準	新収益基準	
		2022年2月期 通期実績	2023年2月期 通期実績	2024年2月期 通期実績	前期比
国内小売	百貨店	138.2億円 (構成比：9.8%)	195.5億円 (構成比：12.7%)	192.5億円 (構成比：12.4%)	98.5%
	非百貨店※1	607.3億円 (構成比43.3%)	670.2億円 (構成比：43.4%)	703.9億円 (構成比：45.3%)	105.0%
	EC	392.8億円 (国内小売EC化率：34.5%)	388.4億円 (国内小売EC化率：31.0%)	358.4億円 (国内小売EC化率：28.6%)	92.3%
国内その他※2		154.3億円 (構成比：11.0%)	161.1億円 (構成比：10.4%)	182.7億円 (構成比：11.8%)	113.4%
海外		111.0億円 (構成比：7.9%)	129.1億円 (構成比：8.4%)	116.1億円 (構成比：7.5%)	89.9%

※1 非百貨店：ファッションビル、駅ビル、アウトレット等

※2 その他：卸や社販等のその他アパレル事業、グループ会社の非アパレル事業

市場低迷が続く海外事業や撤退事業の影響もあり、EC売上高 397.0億円、前期比 92.7%。

国内既存事業は前期比98.1%。

前年に特別企画やコラボスニーカーが好調であったストリートブランドにおいて、継続的なヒート商材の減少影響で、パルス消費動向が強いECにおいて苦戦を強いられた。

当該要因による売上減と撤退事業影響^{※1}を除くと前年超過の実績。

	旧収益基準	新収益基準			
	2022.2期 通期	2023.2期 通期	2024.2期 通期	前々期比	前期比
国内自社EC売上高 (自社EC比率)	178.4億円 (45.4%)	181.1億円 (46.6%)	158.6億円 (44.3%)	88.9% (▲1.1pt)	87.6% (▲2.3pt)
国内EC売上高 (国内EC化率) ^{※2}	392.8億円 (34.5%)	388.4億円 (31.1%)	358.4億円 (28.6%)	91.2% (▲5.9pt)	92.3% (▲2.5pt)
海外EC売上高 (海外EC化率)	36.9億円 (33.3%)	39.7億円 (30.8%)	38.5億円 (33.2%)	104.4% (▲0.1pt)	97.1% (+2.4pt)
EC売上高合計 (EC化率)^{※2}	429.8億円 (34.4%)	428.1億円 (31.0%)	397.0億円 (29.0%)	92.4% (▲5.4pt)	92.7% (▲2.0pt)

※1 事業撤退 (BOSCH) や「SUNSPEL」・「UNDEFEATED」の代理店契約終了による影響でEC売上金額が縮小

※2 EC化率について、国内その他売上 (卸や社販等) を除き算出

更なる成長に向けた新たなチャレンジ



新ブランド『Apo(s)ture (アポスチャー)』がZOZO TOWNでローンチ。生産支援プラットフォーム“Made by ZOZO”の仕組みを活用し、廃棄を生まない完全受注生産で、お客様の“なりたい”を叶える。ECを起点とした新たな切り口を模索する。



4

2025年2月期 通期連結業績計画



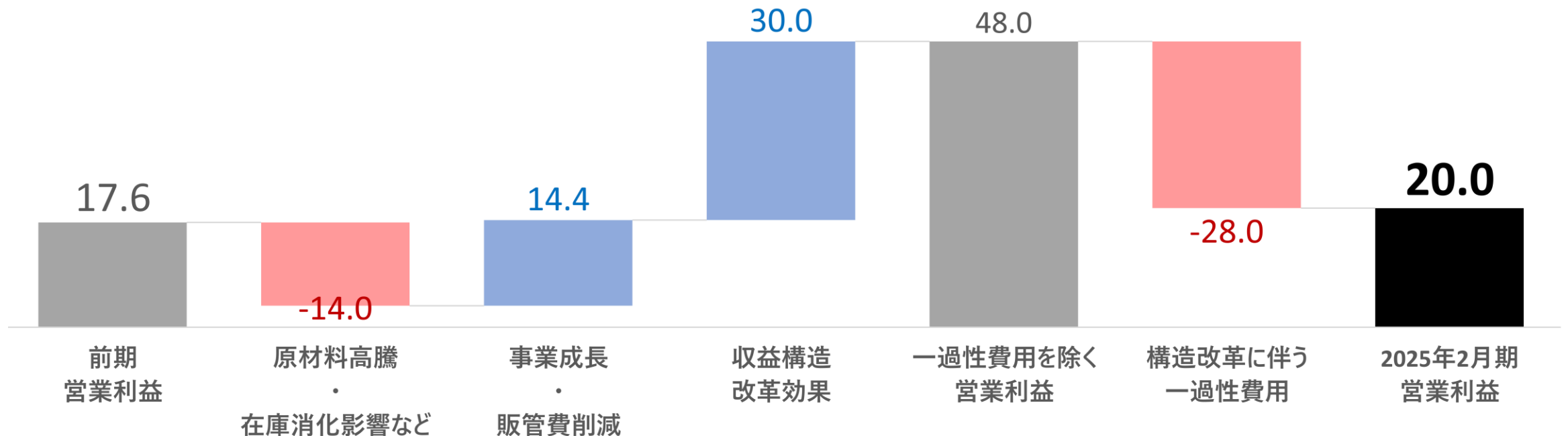
売上高は、構造改革による増収要因と減収要因の双方を織り込み **1,600.0億円 / 前期比 103.0%**。
 営業利益は、改革初年度の費用計上による一時的減益があるものの **20.0億円 / 前期比 113.6%**。
 なお、経常利益は 25.0億円 / 前期比 66.7%、当期純利益 40.0億円 の見込み。

	2023年2月期実績	2024年2月期実績	2025年2月期計画	増減額	増減率
売上高	1,544億5千万円 (前期比：110.0%)	1,553億8千万円 (前期比：100.6%)	1600億0千万円 (前期比：103.0%)	+46.2億円	+3.0%
営業利益	23億2千万円 (利益率：1.5%)	17億6千万円 (利益率：1.1%)	20億0千万円 (利益率：1.3%)	+2.4億円	+13.6% (構成比：+0.2pt)
経常利益	38億5千万円 (利益率：2.5%)	37億5千万円 (利益率：2.4%)	25億0千万円 (利益率：1.6%)	▲12.5億円	▲33.3%
当期純利益	30億6千万円 (利益率：2.0%)	48億4千万円 (利益率：3.1%)	40億0千万円 (利益率：2.5%)	▲ 8.4億円	▲17.4%

- 為替悪化/原材料高騰や在庫消化適正化のための影響による14.0億円の粗利悪化
- 事業成長や販管費削減による14.4億円の収益改善
- 構造改革による30.0億円の収益改善

を見込んでおり、2024年2月期実績 17.6億円から**実質収益は 48.0億円**まで良化。

そこから構造改革に伴う一過性費用を含め、**2025年2月期計画は営業利益 20.0億円**と設定する。





5

補足資料

JILL by JILL STUART



第4四半期概況

(新収益認識基準)

	2023.2期 第4四半期		2024.2期 第4四半期			
	実績 (百万円)	構成比 (%)	実績 (百万円)	構成比 (%)	前期差 (百万円)	前期比 (%)
売上高	39,050	100.0	40,526	100.0	1,476	103.8
売上総利益	19,535	50.0	20,527	50.7	992	105.1
販管費	20,932	53.6	20,990	51.8	58	100.3
販管費 (のれん償却費・減価償却費 除)	20,136	51.6	20,135	49.7	-	100.0
のれん償却費	77	0.2	94	0.2	16	121.8
減価償却費	718	1.8	759	1.9	41	105.8
営業利益	▲1,397	▲3.6	▲462	▲1.1	934	33.1
経常利益	▲1,202	▲3.1	113	0.3	1,315	▲9.4
特別利益	92	0.2	821	2.0	729	888.6
特別損失	1,438	3.7	1,457	3.6	18	101.3
税金等調整前四半期純利益	▲2,548	▲6.5	▲522	▲1.3	2,026	20.5
親会社株主に帰属する四半期純利益	▲1,558	▲4.0	1,559	3.8	3,117	▲100.0
EBITDA ※	▲600	▲1.5	391	1.0	992	▲65.2

※ EBITDA = 営業利益+のれん償却費+減価償却費

通期概況(累計)

(新収益認識基準)

	2023.2期 通期累計		2024.2期 通期累計			
	実績 (百万円)	構成比 (%)	実績 (百万円)	構成比 (%)	前期差 (百万円)	前期比 (%)
売上高	154,456	100.0	155,383	100.0	927	100.6
売上総利益	84,901	55.0	84,729	54.5	▲172	99.8
販管費	82,572	53.5	82,968	53.4	396	100.5
販管費 (のれん償却費・減価償却費 除)	78,744	51.0	79,371	51.1	626	100.8
のれん償却費	423	0.3	451	0.3	28	106.6
減価償却費	3,403	2.2	3,145	2.0	▲257	92.4
営業利益	2,329	1.5	1,760	1.1	▲569	75.6
経常利益	3,859	2.5	3,758	2.4	▲100	97.4
特別利益	1,065	0.7	2,243	1.4	1,178	210.6
特別損失	2,120	1.4	1,944	1.3	▲176	91.7
税金等調整前四半期純利益	2,804	1.8	4,057	2.6	1,253	144.7
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,063	2.0	4,849	3.1	1,786	158.3
EBITDA ※	6,156	4.0	5,357	3.4	▲798	87.0

※ EBITDA = 営業利益+のれん償却費+減価償却費

販路別の売上高 (新収益認識基準)

	2023.2期 通期累計		2024.2期 通期累計			
	実績 (百万円)	構成比 (%)	実績 (百万円)	構成比 (%)	前期比 (%)	構成比前期差 (pt)
百貨店	19,555	12.7	19,258	12.4	98.5	▲0.3pt
非百貨店 ^{※1}	67,022	43.4	70,390	45.3	105.0	+1.9pt
自社サイト	18,111	11.7	15,864	10.2	87.6	▲1.5pt
その他	20,732	13.4	19,981	12.9	96.4	▲0.6pt
EC(E-Commerce)	38,843	25.1	35,845	23.1	92.3	▲2.1pt
その他 ^{※2}	16,115	10.4	18,276	11.8	113.4	+1.3pt
国内合計	141,537	91.6	143,771	92.5	101.6	+0.9pt
EC(E-Commerce)	3,975	2.6	3,858	2.5	97.1	▲0.1pt
海外合計	12,918	8.4	11,612	7.5	89.9	▲0.9pt
EC(E-Commerce)	42,819	27.7	39,704	25.6	92.7	▲2.2pt
総合計	154,456	100.0	155,383	100.0	100.6	-

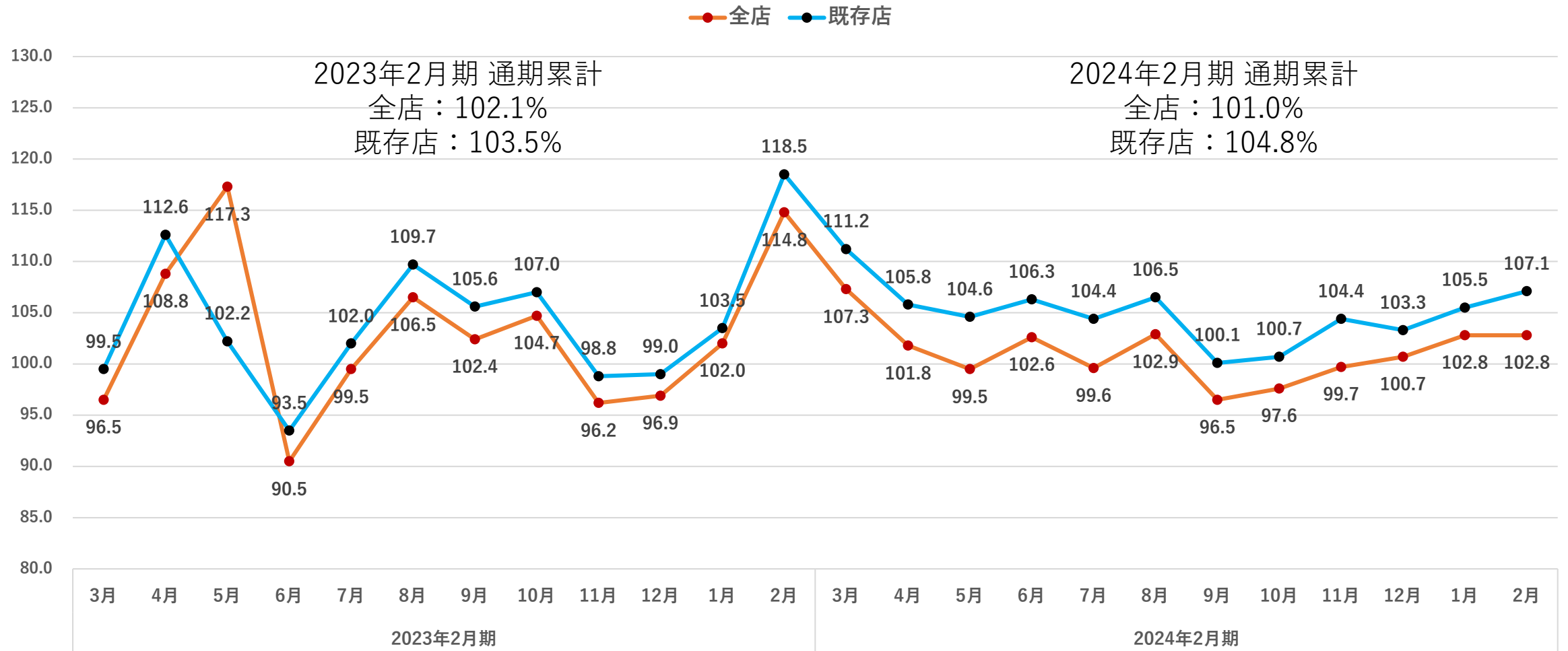
※1 非百貨店：ファッションビル、駅ビル、路面店、アウトレット等

※2 その他：卸や社販等のその他アパレル事業、グループ会社の非アパレル事業等

ブランド別の売上高 (新収益認識基準)

	2023.2期 通期累計			2024.2期 通期累計			前期比	
	売上高 (百万円)	構成比 (%)	売上総利益率 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	売上総利益率 (%)	売上高 (%)	売上総利益率 (pt)
1. PEARLY GATES	17,086	11.1	60.8	16,111	10.4	54.5	94.3	▲6.3pt
2. NANO universe	14,764	9.6	51.2	14,268	9.2	50.6	96.6	▲0.6pt
3. MARGARET HOWELL	12,801	8.3	64.5	14,133	9.1	62.3	110.4	▲2.1pt
4. NATURAL BEAUTY BASIC	10,994	7.1	63.1	11,108	7.1	64.2	101.0	+1.0pt
5. HUF	9,853	6.4	51.3	8,843	5.7	53.2	89.8	+1.9pt
6. AVIREX	7,084	4.6	54.5	8,125	5.2	60.3	114.7	+5.8pt
7. STUSSY	4,617	3.0	64.5	5,387	3.5	62.8	116.7	▲1.7pt
8. new balance golf	4,409	2.9	51.3	4,714	3.0	49.0	106.9	▲2.3pt
9. human woman	4,400	2.8	64.1	4,297	2.8	64.3	97.6	+0.3pt
10. Jack Bunny!!	3,445	2.2	47.5	3,597	2.3	45.9	104.4	▲1.6pt
TOP10 計	89,457	57.9	57.8	90,588	58.3	57.0	101.3	▲0.9pt
その他 計	60,166	39.0	52.1	64,238	41.3	51.2	106.8	▲1.0pt
継続ブランド 計	149,624	96.9	55.5	154,827	99.6	54.5	103.5	▲1.0pt
廃止ブランド 等	4,832	3.1	37.5	556	0.4	51.5	11.5	+14.1pt
合計	154,456	100.0	55.0	155,383	100.0	54.5	100.6	▲0.4pt

国内 既存店・全店 売上高の推移



店舗数の状況

		2023.2期 期末	出店	退店	2024.2期 期末	前期末差
ア パ レ ル	国内	738	+53	▲60	731	▲7
	海外	29	+1	-	30	1
	合計	767	+54	▲60	761	▲6
飲 食	国内	8	-	▲2	6	▲2
コ ス メ	国内	36	+1	▲6	31	▲5
総計		811	+55	▲68	798	▲13



TSI HOLDINGS GROUP

本資料には、当社およびそのグループ会社に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。これらは、本資料の日付において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づくものであり、実際の業績等は今後の様々な要因によって大きく異なる可能性があります。